

YOMIKO

NEWS RELEASE

YOMIKO ADVERTISING INC. 本社 = 東京都中央区銀座 1-8-14 〒104-8686 .03-3567-8111

 株式会社 読売広告社

平成17年 6月 2日

読売生活者調査 Canvass 2005

『自己実現の時代』はまだまだ遠い！？ 多様化する生活者の願望と足りない時間

「自分のやりたいこと」にもっとかけたいのは「時間」(84.7%) > 「情熱」「お金」
「自己実現にかける時間」確保のために、生活行動の「アウトソーシング」で解決

< 調査結果から >

生活者の幸福感 …平均は70点 69 70 70 過去三年間横ばい
「自分のやりたいことにもっとかけたいもの」…時間 84.7%がトップ
生活者の「やりたいこと」(FA)は110項目に分散、多様化が進む

株式会社 読売広告社（本社：東京都中央区銀座1-8-14 代表取締役社長：小池克彦）
では、昨年11月に東京30⁺圏及び大阪20⁺圏の男女1715名を対象として実施したオリジナルの生活者調査『Canvass（キャンバス）2005』の結果を発表・刊行致しました。

現代のような成熟社会では、生活者の物質的な欲望は概ね充足されており、更なる幸福感を得るためには、自己実現・自己表現といった物質主義から脱した精神的充足が必要だと言われています。

今回の調査では、生活者が「自己実現」によって生活満足や幸福感を得ようとする場合、「やりたいこと」が多岐に渡っている反面、「やりたいことにかける時間」が不足していると感じている実態が浮かび上がっています。

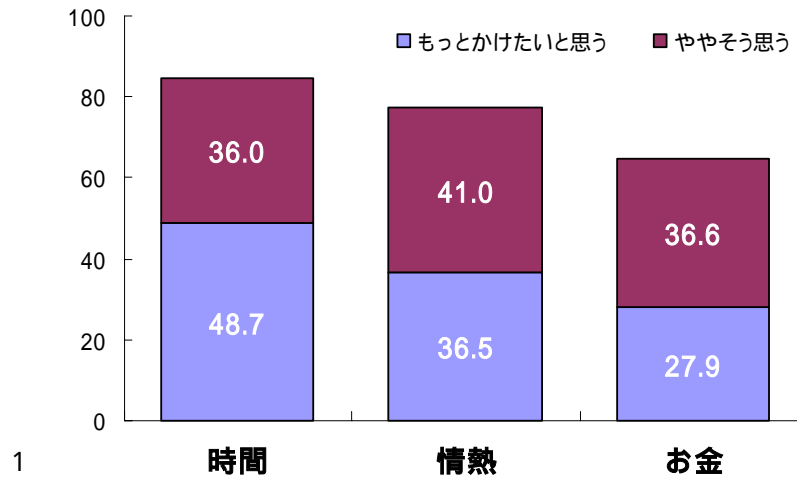
【 読広生活者調査 Canvass 2005の調査結果から】

読広生活者調査 Canvass では、生活満足、幸福感、社会不安、マナー、消費行動などさまざまな角度から生活者の姿を捉えてきました。

今回の調査では、生活者がそれぞれの幸福（自己実現）を求めていくプロセスにおける具体的生活行動から解き明かすことを試みました。

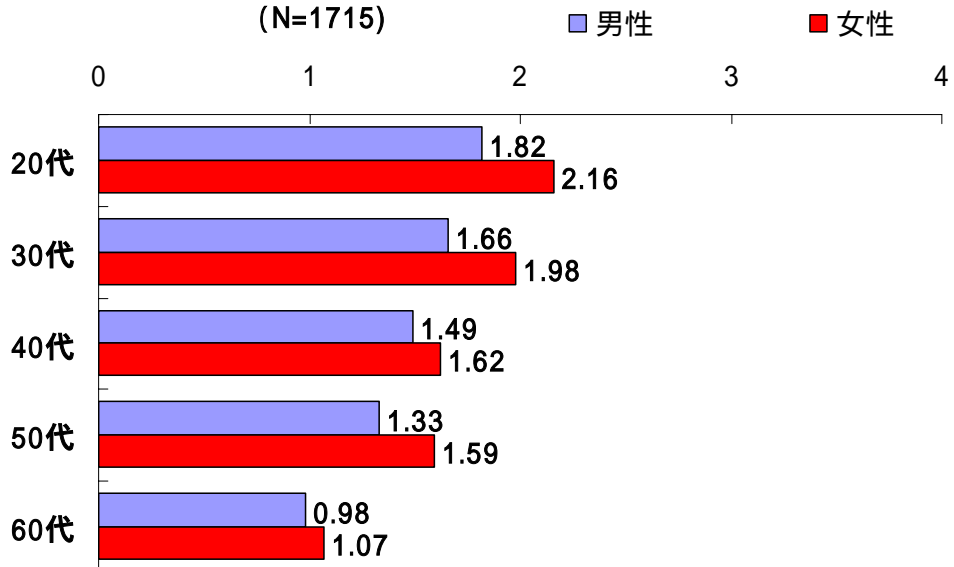
その結果、73.2%の生活者が110項目もの多様な「もっとやりたいこと（自己実現）」を抱えており、さらに「お金」64.5%「情熱」77.5%といったこと以上に「時間」をかけたい（84.7%）と感じていることが明らかになりました。（ 1 ）

「自分のやりたいこと」にもっとかけたいもの
(N=1715)



また、「やりたいこと」のために生活行動全般を「アウトソーシング」する傾向があることについても確かめられました。「アウトソーシング（外部依存）」は商品選択、実用情報、買物行動、趣味など多くの分野において見られ、特に若年層・女性層において依存度が高い傾向にありました。（ 2 ）

外部依存スコア(外部依存している分野の平均)
(N=1715)



「やりたいこと」に『もっと』かけたいもの 「時間」84.7%

現代のような成熟社会では、生活者の物質的な欲望は概ね充足されており、更なる幸福感を得るためには、自己実現・自己表現といった物質主義から脱した精神的充足が必要だと言われています。

これまで Canvass でも、そうした価値観を求める人々を「幸福感の追求」（Canvass2002）「価値観の多様化による社会的エントロピーの増大」（Canvass2001）といった切り口で分析を行なってきました。

今回の調査では、「自己実現」を量る“ものさし”として、個々人の「やりたいと思うこと」「もっとかけたいもの」（時間、情熱、お金）について尋ねています。

「自分の『やりたいこと』にもっとかけたいもの」について聞いたところ、最も多かったのが「時間（48.7%）」であり、次いで「情熱（36.5%）」「お金（27.9%）」という結果になりました。

「やや思う」を加えると、「やりたいこと」にもっと時間をかけたいと考える（不足と感じている）人は、生活者全体の84.7%存在することになります。（ 1 参照）

また「やりたいこと」の中身については、趣味、家庭、資産、健康など大きく9カテゴリー・合計110項目に及ぶ、極めて多様化した願望が回答されました。

（フリーアンサーをアフターコードして集計・表1 参照）

表1) 時間、お金、情熱をかけてやりたいこと (N=1715)

a) 仕事・勉強関係(計)	21.0 %
上位2項目内訳	
勉強	5.3
資格取得	4.1
b) 趣味・遊び関係(計)	34.6
上位2項目内訳	
国内旅行	9.3
趣味	6.0
c) 美容・健康関係(計)	5.4
d) スポーツ関係(計)	16.9
上位2項目内訳	
スポーツ	3.6
ゴルフ	3.0
e) 音楽・楽器演奏関係(計)	3.8
f) 家庭関係(計)	5.4
g) 資産関係(計)	0.5
h) 福祉関係(計)	2.5
i) その他	1.0

これら願望を充足するために、人々はまず行動の優先順位を決定し、自分が出来ないことをアウトソーシングすることが、今後さらに恒常化していくことが予想されます。特に不足している時間を補うために、企業が行なっているのと同様な分業化・外部化は、生活者の時間的制約を解消する一つの方法論として益々拡大していくことでしょう。

進む「外部依存（アウトソーシング）」 外部依存スコア 20代女性（2.16）が最高

女性の社会進出や生活の多忙化などさまざまな社会環境の変化により、生活上の分業化（外部化）が進んでいます。現代では、単なる効率化のための分業だけではなく、先述しましたように自己実現のための外部化や、価値判断のような個人の意思決定の基軸自体を外部に求める「価値判断の外部化」なども加わり、外部化の進境は著しいものがあります。

今回の調査では、大きく分類して「商品選択」「実用情報」「買物行動」「趣味・レジャー」について、外部サービスをどの程度利用しているのかを尋ねたところ、下記のような結果となりました。

外部依存傾向を示す行動の内容の全体分布（N = 1715）
（アウトソーシング行動 よくするもの肯定反応の割合）

1) 商品選択の外部化	45.8%
2) 実用情報の外部化	55.0
3) 買物行動の外部化	31.8
4) 趣味・レジャーの外部化	28.2

上記の外部化行動には、「調理済みのおかずをよく買う」「流行っているものをよく買う」「ネットやテレビの実用情報をよく利用する」「通販やネット販売をよく利用する」といったような項目が含まれています。

外部依存4分野該当スコアの平均
（分野への該当を0-4にスコア化）

外部依存スコア		平均
全体	(N=1715)	1.61
男	20代 (N=189)	1.82
	30代 (N=172)	1.66
	40代 (N=139)	1.49
	50代 (N=168)	1.33
	60代 (N=123)	0.98
女	20代 (N=176)	2.16
	30代 (N=162)	1.98
	40代 (N=133)	1.62
	50代 (N=167)	1.59
	60代 (N=129)	1.07

一般的に男女とも若い世代、未婚、有職者などのグループの肯定反応率が高い傾向にありました。今回の調査では、大きく四つの分野に分けた具体的な生活行動が「時間、労働の節約・効率化」に過ぎないのか、それとも価値判断の基準まで外部化しているのか、明確に分けて検証しているわけではありませんが、未婚の有職者など若い世代グループが外部化依存を享受しているという傾向は読み取れます。

また、自己実現志向、特に「やりたいことに『時間』をもっとかけたい」願望は、上記の外部化四類型の全てと有意な関係があることも確かめられました。

「スピード」「効率」に対する要求が厳しくなる一方の現代社会では、効率化が進展しているにもかかわらず、生活者個人に時間的な余裕が足りないというジレンマが生じています。

一方では、個々人の自己実現欲求も依然高く、相関の高い「時間」を軸とした外部化はますます進行していくと思われまます。

分析のプロセスや詳細なデータについては、Canvass 本誌をご参照ください。

『読広生活者調査 Canvass2005』

定価 30,000円(税込31,500円)

発行所 (株)読売広告社 東京都中央区銀座1-8-14

■ 調査の概要

調査目的	現代生活者の実態の定点観測
調査対象	東京30km圏、大阪20km圏内に居住する満13歳から69歳の一般男女
標本数	1,715サンプル (東京圏1,070、大阪圏645名)
標本抽出方法	エリアサンプリング
調査方法	留置法
調査時期	2004年11月

■ 主な調査項目

生活全般について：生活観（幸福感、生活満足度、分野別こだわり） 世の中の感じ
生活時間行動：平日・休日の生活行動の時間帯、日常の生活行動の頻度
生活意識・態度、商品の購入：衣食住、買物、余暇、健康、情報など16分野の意識態度
商品購入の重視点、頻度、購入場所
メディアについて：平日・休日の接触時間・接触媒体、閲読新聞・雑誌、折込広告、インターネット

Canvass ではこれまで 13～64 歳までの生活者を対象としてきましたが、近年の高齢化社会の状況を踏まえ、13～69 歳までへと対象者を拡大致しました。

リリースについてのお問い合わせは

株式会社読売広告社 東京都中央区銀座1-8-14 (〒104-8686)

担当：総務局 コーポレート部 山中 TEL：03-3566-6966 FAX：03-3566-6979

調査の詳細については

担当：ソリューション開発局 R&D部 上野 TEL：03-3566-6722 FAX：03-3566-6738

<http://www.yomiko.co.jp/ability/mdi/index.html>